

新村 まさる

市政報告 FUKUOKA! | Vol.4 |

汗をかき、
誰よりも。

ありがとうございました！

皆様のおかげで、初当選以来のこの4年、目一杯に
取り組ませていただきました。バより感謝を申し上げます。
この春には、二期目への挑戦です。もっと地域と
福岡の将来に貢献できますよう、努力を続けて参ります。

福岡市議会議員 新村 まさる



様々な分野の課題について、行政に改善への姿勢と施策の取組みを求めてきました。

4年間で議会質問は **22** 回、取り上げた問題提起は **46** 項目。※平成31年1月現在

平成27年6月定例会・議会質問

- ◎本市の職員採用の在り方について

平成27年9月定例会・議会質問

- ◎不登校対応教員配置に伴う
「校内適応指導教室」の在り方について

平成27年10月決算特別委員会・総会質疑

- ◎「不登校対応教員」配置制度の今後の検証について

平成27年12月定例会・議会質問

- ◎今後の不登校支援行政の在り方について
- ◎フリースクール等機関との今後の連携体制について
- ◎「不登校生徒数」と「長期欠席者数」の乖離について

平成28年3月定例会・議会質問

- ◎「留守家庭子ども会」への入会児童数、
これまでの推移と今後の見通しについて

平成28年3月予算特別委員会・総会質疑

- ◎小学校の「留守家庭子ども会」、
狭あい化施設への今後の対応について

平成28年6月定例会・議会質問

- ◎本市の国際交流事業について
- ◎姉妹都市または分野型MOUの在り方について
- ◎中長期のグランドビジョンの具体性について
- ◎ASEAN諸国または各都市との交流・連携について

平成28年9月定例会・議会質問

- ◎フリースクール等民間施設と学校・
教育関係機関との今後の連携に向けて

平成28年10月決算特別委員会・総会質疑

- ◎不登校対応教員の配置拡充に向けて
- ◎適応指導教室の充実・拡充に向けて

平成28年12月定例会・議会質問

- ◎都心部建築物の建替え促進に向けた容積率の
規制緩和施策について
- ◎天神BBBにおける容積率緩和の効果
- ◎都心部機能更新型容積率特例制度の取組み実績
- ◎天神ビッグバン施策が市街地に与える将来の影響



平成29年3月定例会・議会質問

- ◎医療的ケアを必要とする子どもたち、
彼らにとっての「保育の場」の現状について

平成29年3月予算特別委員会・総会質疑

- ◎医療的ケア児を見守る保育体制、整備の必要性について

平成29年6月定例会・議会質問

- ◎長住中央公園、今後の再整備事業について
- ◎本市の配慮不足とその責任について
- ◎球場以外部分における一部早期着工の必要性
- ◎優先利用「保留」処分について

平成29年9月定例会・議会質問

- ◎孤立しがちな児童生徒とその家庭への「アウトリーチ型」の
支援について
- ◎スクールカウンセラーの資格要件と任用の在り方について

平成29年10月決算特別委員会・総会質疑

- ◎家庭水道水における衛生管理、現状と今後の在り方について

平成29年12月定例会・議会質問

- ◎長住中央公園の再整備問題について
- ◎地域内の話し合いの促進に向けて

平成30年3月定例会・議会質問

- ◎部活動指導員の中学校への配置について
- ◎精神障がい者の地域生活支援について

平成30年3月予算特別委員会・総会質疑

- ◎医療的ケア児の保育モデル事業について
- ◎生活困窮世帯への訪問型学習支援について

平成30年6月定例会・議会質問

- ◎行政区をまたいだ通学区域(小学校区)について
- ◎複数の中学校区にまたがる小学校区について
- ◎宿泊税に関する本市の考え方について

平成30年9月定例会・議会質問

- ◎小規模貯水槽の管理、全件調査完了後の対応について
- ◎コミュニティパーク事業について
- ◎集会所施設の新築・建替えへの融資斡旋制度について

平成30年10月決算特別委員会・総会質疑

- ◎雁ノ巣レクリエーションセンターの利便性向上について
- ◎多目的グラウンド整備への調査・検討について
- ◎ヤンゴン市との今後の取組みについて

平成30年12月定例会・議会質問

- ◎福岡空港における将来的な国際路線編成について
- ◎本市顧問弁護士を選任の在り方について
- ◎訴訟業務委託の在り方について

新村まさる年表 ～ 38歳、これまでの歩み。～



花畑小学校時代

小学2年生までの学び舎「花畑小」。
運動が好きなわんぱく小僧でした。



柏原小学校時代

3年生からは、新設された「柏原小」に！地域に育てられたソフトボール少年でした。



高校生時代

大濠高校では、硬式野球部に所属。
甲子園を目指して、チームメイトと毎日グラウンドで汗を流しました。

大学生時代

早稲田大学／人間科学部に進学し、学生時代は仲間たちと大切な時間を過ごしました。社会人野球（硬式）では学生ながらキャプテンを務めました。



中学生時代

中学校でも野球中心の毎日。
生徒会活動にも励みました。



大学院生時代

早稲田大学大学院に進学。
大好きだった野球は、25歳の頃まで選手として続けさせてもらいました。



熱血営業マン時代

アサヒビール株式会社に入社。
入社式では、同期新入社員総代として、代表挨拶をさせてもらいました。
横浜支社の熱血営業マンでした。

アサヒビール(株)を退職

入社以来、沢山の得意先様や先輩・同僚に支えられ、多くの経験を積ませてもらいました。政治家を志して、2010年4月末に同社を退職。約11年ぶりに福岡へ帰郷。

「落選」を経験

2011年4月の福岡市議会議員選挙へ無所属で挑戦し、惨敗・落選(1,797票)。しかしながら、この時に生まれた想いが、後のNPOによる取組みへと向かわせてくれました。



政策勉強時代

大久保勉参議院議員(現・久留米市長)の公設秘書を2年務め、政策課題など総合的に学びました。



NPO事業の開始

2013年にボランティア団体「NPO法人次世代のチカラFUKUOKA」を立ち上げ、数々の事業を企画し、開催を続けてきました。

初当選

2015年4月の福岡市議会議員選挙に、再び無所属で挑戦し、初当選(6,287票)。地域課題や生活課題の1つひとつに対して、地道な取組みを着実に進めているところです。

父親としての横顔

小学2年生の息子が野球を始めたおかげで、一緒に過ごす時間が少しだけ増えました！



プロフィール

福岡市議会議員（無所属）

新村 まさる

【経歴】

- ◆ 福岡市立柏原小学校／柏原中学校
- ◆ 福岡大学附属大濠高校
- ◆ 早稲田大学／早稲田大学大学院
- ◆ アサヒビール株式会社 入社・退社
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2011年) 落選
- ◆ 国会議員事務所(公設秘書) 入所・退所
- ◆ スペクトラムアンドパートナーズ株式会社 入社
- ◆ NPO法人 次世代のチカラFUKUOKA 設立
- ◆ 福岡市議会議員選挙(2015年) 当選

【現在の活動】

- ◆ NPO法人 次世代のチカラFUKUOKA／理事長
- ◆ スペクトラムアンドパートナーズ株式会社／専務取締役
- ◆ 福岡大学附属大濠高校同窓会／常務理事・校友会委員長
- ◆ 福岡リパティライオンズクラブ／第一副会長
- ◆ 校区／防犯会長・自治協常任委員



「応援サポーター」 公式サイトから簡単登録！

「新村まさる後援会」では、応援サポーター登録をお願いしております。サポーターの皆様には、年に1～2回、市政報告等のお便りを郵送させていただきます。

南区在住のご家族様や友人・知人様のご紹介(サポーター登録)も、併せて宜しくお願い申し上げます。



応援サポーター登録方法

氏名・住所を記入！ → 送信ボタンをクリック！



※公式サイトトップ画面から入れます。



新村まさる

検索

新村まさる市政事務所

〒815-0075 福岡市南区長丘2-24-3武末第一ビル1F
TEL:092-408-6375 FAX:092-408-6376
info@niimuramasaru.com



地域で活動するから 見えてくる地域の課題!

この4年間、地域での活動は、私に多くの課題と経験を与えてくれました。
長丘校区では「防犯会長」を任せていただき、益々、地域を支えていく自覚
を持って、これからも取り組んでいきます。
みんなで汗をかって、みんなで笑う。地域活動は本当に楽しい!



これからの「FUKUOKA」 世界に向けた取組み!

この4年、世界に向けた取組みを独自に進めてきました。経済・文化交流
や人的交流の成熟を通じて、将来的には、国際友好と国際貢献に果たす
福岡市の役割をより大きなものにしていきたいと考えています。
私自身がその架け橋として貢献できるように、
これからも地道な活動を重ねていきます。



子どもたちとの取組み 私のライフワークです!

2013年にボランティア団体「NPO法人 次世代のチカラFUKUOKA」
を立ち上げ、「子どもたちの将来の活躍を応援する」を合言葉に、
これまでも数々の事業を企画し、開催を続けてきました。これからも、
ワクワクするような多様な体験の場を創り出し、優しく元気な「心」を
育てていきたいと思います!



特集1. 顧問弁護士制度、60年物のブラックボックス!?



皆さんは、福岡市の「顧問弁護士」がどのように決められ、どのような仕事をしているのかご存じでしょうか？平成30年12月議会で、60年ほど前から続くその仕組みについて、問題提起しました。

福岡市の顧問弁護士制度

- 顧問弁護士設置人数：2名
- 業務内容：本市の法律相談に関する助言
- 報酬：月額15万7,000円
- 別途報酬??：1億6,000万円??（直近5年間）



福岡市の顧問弁護士制度は、昭和34年4月1日から現在まで、同じ仕組みのまま続いてきました。顧問弁護士としての業務である「法律相談」以外にも、本市の訴訟業務を優先的に受託してきました。

Q 本市が関わる訴訟について、過去5年の件数と弁護士への委託費用総額は？

A 直近5年間で55件。委託総額は、1億6,622万円。

Q その内、顧問弁護士2人に支払われた委託料は？

A 1億6,032万円。全体の96.4%。



ココがポイント!

顧問弁護士2人への訴訟委託料とは、主に着手金と報酬金で、「顧問報酬」とは別じゃ!その額、5年間で約1.6億円。60年間だったら、総額いくらに上るんじやろう?「文書保存期間」が5年のため、それ以前については明らかになっとらんじや!

過去5年の訴訟事案で最も高い着手金は、734万4,000円。最も高い報酬金は、1,944万円。しかも、この報酬額1,944万円は、裁判所が「棄却」を言い渡し、法廷まで争いが持ち込まれなかった事案に対して支払われたものなんじゃ!



約60年続く福岡市の顧問弁護士制度ですが、任期の定めを設けていないため、これまでに在任した弁護士は、現職2人を含めて、僅か6人のみ。そして、その退任時の理由は、「死去」による退任が1人、「本人からの申し出」による退任が3人…。40年以上在任し続けた方も…。

Q 「本人の申し出により退任された3人」ですが、退任時の年齢は？

A A氏 78歳、B氏 79歳、C氏 79歳。

Q 業務執行における年齢適性の観点から、「本人の申し出による退任」という仕組みは適切であったか？

A 適切であったと考えている。



福岡市の顧問弁護士は、過去より、市の担当部署によって適切に選考（面接含む）されてきたといえます。しかしながら、同時に2人以上を対象に選考作業を行った記録は無く、面接後に「不選任」とした記録もありません。また、既存の顧問弁護士が次の候補者を推薦するという手法も、水面下での慣例だったようです。

ココがポイント!

過去に、この問題が市議会で指摘されたことは無く、市民の目の届かないところで、当然の仕組みとして、顧問弁護士選任と訴訟業務委託が行われてきたのじゃ!市民目線には、一部による既得権益の独占とも受け取られかねんのう!

Q 約60年続いてきた顧問弁護士の選任と訴訟業務委託の在り方ですが、広く市民から理解を得られると思う?そして、これからも続けるの?

A 市民の理解は得られるものと考えている。現時点での見直しは考えていない。

透明性・納得性を高めるための公明正大な選任方法や訴訟業務委託の在り方が、今後、福岡市に求められるべきと思うんじや!これまで存在しなかった「選任方法に関する指針」を設けることも大きな前進になるじやろうし、任期を定めた専門分野ごとの事前公募や複数の法律事務所との業務提携の締結、弁護士会との連携なども検討の余地は十分にあるはずじゃ!

ココがポイント!



要望

実は…、これらの仕組みは全国の自治体でも一般的なものとして残っているものです。ぜひ、福岡市には、時代錯誤の慣習に捉われることなく、全国の自治体には正・改善への問題提起を波及させる役割を担うよう求める!

特集2. 30年後、福岡の空は!?

福岡空港が、これから大きな変化を迎えます。国交省による民間委託に伴い、2019年4月から福岡国際空港株式会社が運営の舵取りを担います。現在工事が進められているターミナルビルの建替えに続き、2020年の平行誘導路二重化、2025年に滑走路の増設が控えています。



それに伴い、福岡空港滑走路の発着処理能力は、現在の16.4万回/年→2020年に17万回/年→2025年に18.8万回/年に増力されます。国交省はさらに、GPS技術の活用や侵入方式の高度化まで視野に入れて、将来的には21.1万回/年を見込んでいます。

この10年で、国際化が顕著な福岡市!

福岡空港における「国際線」の発着数の推移
H20年: 1.7万回 → H29年: 3.6万回



Q 福岡空港における今後の「国際線」新規就航には、本市はどのように関わっていくの?

A 空港運営会社など関係機関と連携して、路線誘致に取り組む。



東アジア・東南アジアへの就航便数の推移予測



7つの国・地域
16路線
※H30.11月現在

30年後には… 14の国・地域
51路線

※福岡国際空港誘致案概要より

ココがポイント!

これからさらに、福岡空港発着の国際路線が増加。特に、東南アジアへの便数が加速度的に増えていくことが見込まれ、将来的な人的交流・経済交流に大きく影響するじやろう。

要望

東南アジアを中心とした交流人口の増大加速に備えた受入れ体制への準備と、福岡市民による国際的な取り組みや挑戦への後押しを行政に求める!

一方で、福岡空港は混雑空港に指定されているほど、キャパシティ飽和に陥っており、2017年の発着回数は17.8万回/年であり、本来の処理能力16.4万回/年を大きく上回っているのが現状です。



ココがポイント!

空港運営には収入確保が必要なため、処理能力を超えた過密フライトの慢性化を招きがちになるんじや!その結果、事故を引き起こす危険性が増すかもしれないのじゃ!

要望

安全配慮の徹底については、責任ある立場から断続的に空港運営会社へ働きかけるよう行政に求める!

特集3 集会所の新設・建替え、前倒し!?



福岡市内の
自治会・町内会の数は?



約**2,300**団体

その内...

集会所施設を持つのは?



644団体

皆さんの町内・自治会に「集会所」はありますか?

集会所を設置して様々な地域行事に活用したいと思う町内・自治会も少なくないでしょう。福岡市では昨年から、条件を満たせば公園内に集会所(正式名称:パークハウス)を設置することができる「コミュニティパーク事業」が開始されました。これにより、用地を新たに購入しなくても集会所を新設できる環境が整いました。

一方で、これまで活用されてきた既存の集会所の多くは、**深刻な老朽化**の時期を迎えています。

福岡市内では今後、集会所の新設・建替えが進むことが予想されます。

しかしながら、その実現には長い年月を要するのが現状です。

その要因は、「**費用**」です!

新設・建替えの際は、費用の**1/2**(800万円までを上限)の補助を受けることができます。つまり、新設・建替え費用総額から補助額を差し引いた残りの金額を自治会・町内会で負担しなければなりません。その場合、**積立**による資金に頼ることになります。そして、**積立**では**10年、15年**と多くの年月を費やします。



そこで、平成30年9月議会では、以下のような、行政主導による「融資斡旋制度」を提案しました!



この制度が実現すれば、積立ての場合と同程度の負担で、10年、15年と、**前倒し**して集会所の**新設・建替え**が実現するんじゃない!



集会所が前倒しで利用できるということは、そこで実施される**サークル活動**や**町内行事**を通じて、**地域コミュニティ**の親睦・交流と活性化に大きく貢献してくれるだろう。

- Q 集会所施設の新設・建替えを対象とした、このような仕組みを導入すべきでは?
- A 今後、金融機関と協議しながら制度実施を検討したい。

特集4 子どもたちの命を守るスポーツ施設へ!



雁ノ巣レクリエーションセンター

- 年間利用者数: **28万人**※H29年
- 面積: ヤフオクドーム約**10**個分

雁ノ巣レクリエーションセンターでは、野球・ソフトボール・サッカーなど、年間を通じて多くの少年スポーツの大会が開催されています。

海風が強く、木陰が少ないこの運動施設の特徴は...、冬は、**極寒**!夏は、**酷暑**!



近年、夏場の猛暑化が進み、熱中症により救急搬送されるケースも増えています。

福岡市内の熱中症による救急搬送件数
平成20年:**255**件 → 平成30年:**821**件

夏場に屋外で行われる少年スポーツの大会時には、大会・チーム関係者や保護者は、とにかく子どもたちの体調の変化に気を使います。

日本高野連は、2018年夏の高校野球地方大会中に**熱中症対策**として、グラウンドへの頻繁な「**散水(水まき)**」を推奨し、全国の大会運営者への通達を行いました。



- Q 雁ノ巣レクリエーションセンターには、野球場・ソフトボール場が19面あるが、その内、散水機能を持たないグラウンドは何面あるの?
- A **19**面の内、**15**面のグラウンドで散水ができない。
- Q 全てのグラウンドに散水機能を設置いただきたいが、本市の方針は?
- A 必要性や緊急性などを検討した上で、サービス向上に努めていきたい。



市内から多くの少年チームが利用する雁ノ巣レクリエーションセンターでは、子どもたちの命を守るため、特に**熱中症対策**が求められるんじゃない!センター内では、グラウンドから「**給水設備**」までの距離も問題になっとるらしいの。

グラウンドから「給水設備」まで、最も遠い箇所で、



雁ノ巣レクリエーションセンター内のグラウンドの大部分には、「散水」機能どころか、**手洗い場**等の「**給水設備**」さえないんじゃない!これでは、**熱中症**や**ケガ**が発生した際に、十分な**初期対応**が困難じゃろう。



さらに、センター内のグラウンドの大半には、トイレが備え付けられていません。福岡ドーム10個分もの広さに設置されている「屋外共用トイレ」の箇所数は、10カ所。

グラウンドから「共用トイレ」まで、最も遠い箇所で、



夏の暑さ、冬の寒さを原因に、試合中に**体調を崩す**選手も少なくないんじゃない!グラウンドからトイレまであまりにも遠いために、**間に合わなかったり**、我慢してかえって**体調を悪化**させてしまうケースが後を絶たんじゃないの。

- Q 給水設備・共用トイレ、それぞれ大幅に増やす必要があると思うが?
- A ニーズの把握を行い、市民サービスの向上に努めたい。

政治にたくす夢!

Step1



「政治」は、あらゆる人を**応援・支援**するためのものだと考えています。子どもたちや高齢者、子育てする人に働く人。障がい児・者やその家族、地域活動やボランティアに励む人、家族を介護する人や新しいビジネスに挑戦する人。

ありとあらゆるシーンで頑張ろうとする人を「**応援**」し、頑張りがくてもそれが叶わない人を「**支援**」する。



Step2



それらの「**応援・支援**」の1つひとつが、将来的に多くの「**活躍**」を生み出し、多くの人や家族の幸せに結びついていきます。

Step3



そして、1人ひとりの「**活躍**」が社会に還元され、**社会全体**の公益と利益をより大きいものにしてくれます。さらには、その社会益を原資に次の「**応援・支援**」に繋げていく。



このような好循環を生み出すための取組みが、議員には求められます。政治に携わるのは、自己実現のためではなく「政治家は、市民にとっての飽くなき応援団であるべき」というのが、私の信条です。

ひとつでも多くの地域課題を議会へ!

福岡の街は、向こう**10年**で都心部を中心に、その街並みが様変わりします。都市の活力や経済効果への寄与が期待される一方で、その劇的な変化に伴い**表面化してくる課題**に目を向けることがとても大切です。

事故・災害時の避難路確保に、交通混雑や物流の飽和、都市部の事業系ゴミ増大や保育所需要不足、地価・物価の高騰や都市型犯罪への対応など、これらの**将来的な都市課題**への対策について、今後も引き続き行政へ働きかけていきます。



この4年、私が議員として取り上げてきた課題のほとんどは、「**現場**」にひもづいています。地域から世界まで、あらゆる現場に足を運び、様々な活動を続けてきたからこそ、多くの課題に主体的に向き合うことができました。1つでも多くの**地域課題**を洗い出し、その1つひとつの改善へ地道に取り組んでいく姿勢を、最も大切にしています。



もっともっと、人に優しい福岡市へ



優しい行政へ

市民が抱える悩みに対して、自分事のように考え、一緒に改善への方策を探そうとする優しい行政。



勇氣ある行政へ

行政都合の情報だけでなく、勇氣をもって都市の課題を適切に開示し、それを市民と共有することのできる行政。



世界を向いた行政へ

アジアの各都市とのパートナーシップを結び、将来的に、盛んな国際交流を通じた国際平和に貢献しようとする行政。



発信する行政へ

チャレンジ行政によって培う成果や事例を全国に率先して発信することで、日本全国の都市へ良い影響を与えることのできる行政。



信頼される行政へ

市政に関する取組みやその進め方において、透明性と公平性を常に大切に、より市民から信頼される行政。



誠実な行政へ

取組みや仕組みに不備・瑕疵があった場合、その非を深く認め、常に改善への姿勢を持つことのできる誠実な行政。



繋ぐ行政へ

福岡・博多の歴史や文化を慮り、今後の街づくりにもそれを十分に活かしながら、次の世代に繋ごうとする行政。



挑戦できる行政へ

失敗に学ぶことから大きな成功は生まれます。職員一人ひとりが、この街の将来を考えた取組みにチャレンジできる行政。



正しい行政へ

職員の頑張りやチャレンジを引き出し、成果や姿勢が正当に評価され、未来への適材適所の人事が行われる行政。



持続する行政へ

都市活力や必要施策をこの先も持続させるため、都市経営の視点を持って、中長期的な収入・支出を常に大事とする行政。

